

令和元年度

第2回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和元年11月6日

## 柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立柏第四小学校	校長	いわた くみ 岩田 久美
柏市立柏第二中学校	校長	すぎもと ひであき 杉本 秀彰
柏市子ども会育成連絡協議会	会長	かどい たかし 門井 隆志
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	副会長	さかまき まさる 坂巻 勝
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市PTA連絡協議会	会長	よしだ ともき 吉田 智紀
柏市ふるさと協議会連合会	会長	ねもと としはる 根本 利治
柏の葉サイエンスエデュケーションラボ	会長	はむら たいが 羽村 太雅
柏市ストップ温暖化サポーター 元我孫子市社会教育指導員		むらた しずえ 村田 静枝
さわやかちば県民プラザ	所長	ないとう まさとし 内藤 正寿
柏市民生委員児童委員協議会		いとう かおる 伊藤 薫
開智国際大学	教授	てらもと たえこ 寺本 妙子
東京大学大学院	教授	まきの あつし 牧野 篤
文教大学	准教授	あおやま てっぺい 青山 鉄兵
市民公募		ほんだ のりこ 本多 紀子

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名	
生涯学習部	部 長	おぬき しょうぞう 小貫 省三	
生涯学習課 (事務局)	課 長	たかむら あきら 高村 光	
	統括リーダー	ふなこし やすなり 船越 泰成	
	統括リーダー	わたなべ まさえ 渡邊 雅恵	
	主 査	すずき ゆうすけ 鈴木 佑介	
	主 任	たかまる とみお 高丸 富雄	
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)		はえぬき ひろたか 蒨拔 博孝
			いしい れいこ 石井 礼子
		ば ば ひでき 馬場 秀樹	
図書館	統括リーダー	やながわ ゆきひで 柳川 行秀	
学校教育部 指導課	統括リーダー	いわなが あきこ 岩永 朗子	
	副主幹	せきね のりかず 関根 典和	
	副主幹	ゆもと こうじ 湯本 浩二	
	教育専門アドバイザー	いつみだ ひろみ 五味田 博美	

## 次 第

- 1 開会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 議長あいさつ
- 4 説明事項
  - (1) 柏市コミュニティ・スクールの進捗状況について
  - (2) 今期の社会教育委員会議のテーマについて
- 5 協議事項（グループワーク）

「子どもに地域への愛着を持たせるためには何が必要か」
- 6 事務連絡
- 7 閉会

## 目 次

1	社会教育委員会議の全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	柏市コミュニティ・スクールの進捗状況について・・・・・・・・	2
3	社会教育委員と市が目指す子ども像・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4	今期の社会教育委員会議のテーマについて・・・・・・・・・・	5
5	協議事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6

# 1 社会教育委員会議の全体スケジュール

## <令和元年度>

第1回  
(7月31日)

- ・委嘱状交付
- ・議長及び副議長の選出（寺本議長・常野副議長）
- ・グループワーク（テーマについて）
- ・生涯学習部主要事務事業概要報告



第2回  
(11月6日)

- ・柏市コミュニティ・スクール報告
- ・グループワーク（決定したテーマについて）



第3回  
(2月)

- ・講義（テーマについて知見を広める）
- ・グループワーク
- ・生涯学習推進計画策定状況報告
- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告



## <令和2年度>

第4回  
(6月～7月)

- ・前年会議の振り返り
- ・グループワーク（提言の方向性）
- ・生涯学習部主要事務事業概要報告



第5回  
(10月～11月)

- ・意見交換（提言案の検討）
- ・生涯学習推進計画案の説明
- ・計画案について意見交換



第6回  
(1月～2月)

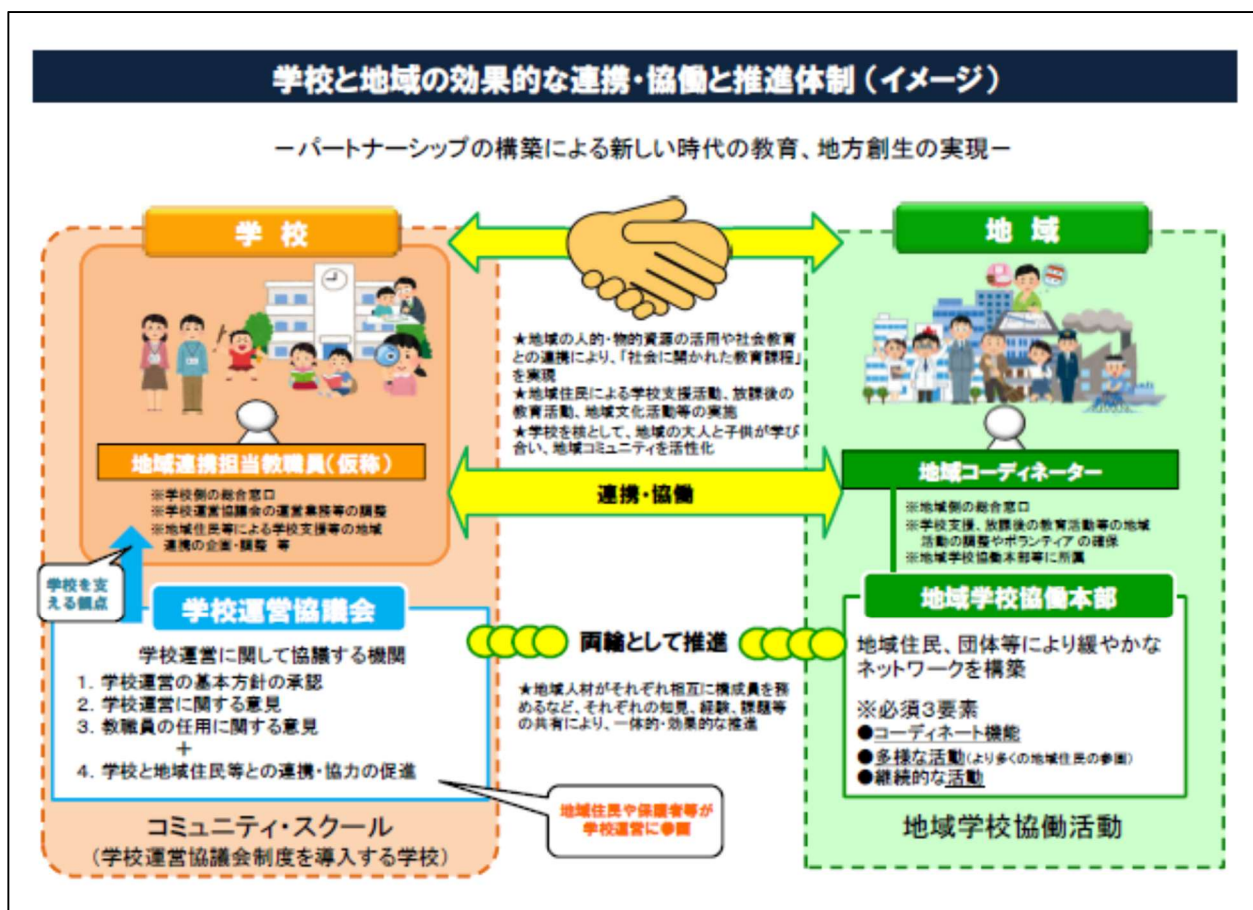
- ・提言
- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告
- ・社会教育委員の振り返り

## 2 柏市コミュニティ・スクールの

## 進捗状況について

### 1 説明資料 別添のとおり

### 2 参考（平成 27 年 12 月 21 日 中央教育審議会答申より）

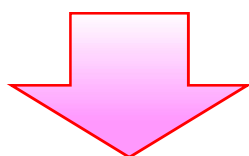


### 3 社会教育委員と市が目指す子ども像

#### 1 社会教育委員の子どもを中心とした課題

前回会議（令和元年7月31日開催）より

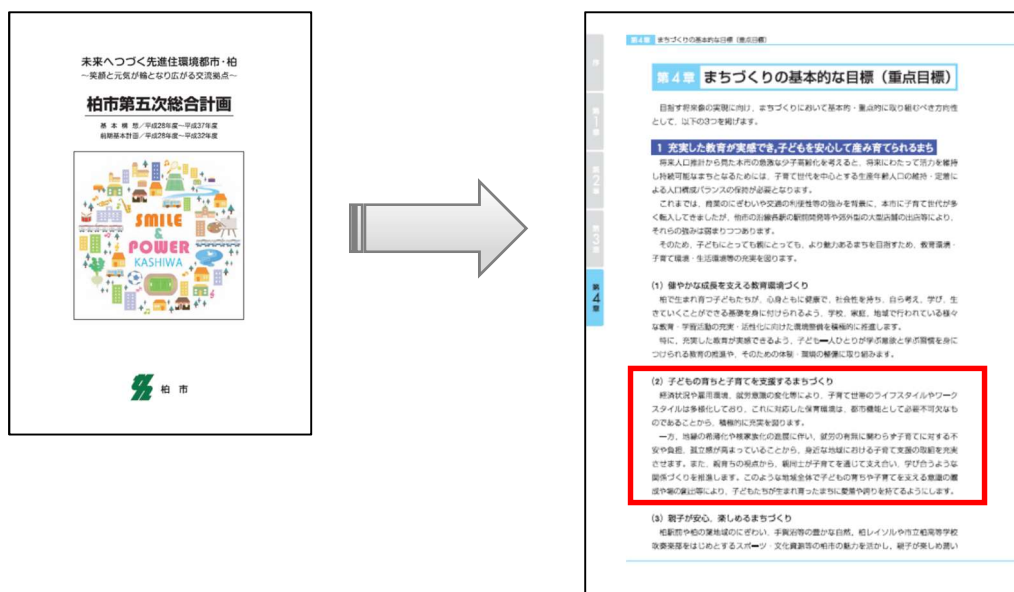
- ・ 子どもがコミュニティの一員，担い手に
- ・ 自分も主役になれる感覚を
- ・ 地域に愛情を持つための知識が不足
- ・ ふるさと（地域）へのつながりが希薄
- ・ 子どもがそこで生まれ，育むふるさと作りが必要
- ・ 地域の大人への信頼感
- ・ 学区外へ通学する子ども
- ・ 持続可能な教育が必要



**地域への愛着を育む必要**



## 2 柏市が目指す子ども像



柏市全体のまちづくりの方向性を示す「**柏市第五次総合計画**」では、子どもに関する施策をまちづくりの基本的な目標（重点目標）の一つに設定し、目指す子ども像を次のように掲げている（柏市第五次総合計画 P26）

### 1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち (2) 子どもの育ちと子育てを支援するまちづくり

経済状況や雇用環境、就労意識の変化等により、子育て世帯のライフスタイルやワークスタイルは多様化しており、これに対応した保育環境は、都市機能として必要不可欠なものであることから、積極的に充実を図ります。

一方、地縁の希薄化や核家族化の進展に伴い、就労の有無に関わらず子育てに対する不安や負担、孤立感が高まっていることから、身近な地域における子育て支援の取組を充実させます。また、親育ちの視点から、親同士が子育てを通じて支え合い、学び合うような関係づくりを推進します。このような地域全体で子どもの育ちや子育てを支える意識の醸成や場の創出等により、子どもたちが生まれ育ったまちに愛着や誇りを持てるようにします。

## 4

## 今期の社会教育委員会議の

### テーマについて

#### 1 テーマ

地域に愛着を持つ子どもの育成について

#### 2 社会教育委員会議で議論していくこと

(柏市がおこなうこと)

地域全体で子どもの育ちや子育てを  
支える環境をつくる



(社会教育委員会議で議論)

愛着を持てる環境をどのようにつくっていくか

#### < 参考 >

平成 27 年 12 月 21 日 中央教育審議会 「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」より

○第 1 章 第 2 節「これからの学校と地域の連携・協働の在り方」の中で、これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の姿として、(1)地域とともにある学校への転換、(2)子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築、(3)学校を核とした地域づくりの推進の 3 つを掲げた。

○(3)学校を核とした地域づくりの推進では、「地方創生の観点からも、学校という場を核とした連携・協働の取組を通じて、**子供たちに地域への愛着や誇りを育み**、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る『学校を核とした地域づくり』を推進していくことが重要である。」と示した。

## 5

# 協議事項

## 1 グループワークの実施

### 今回の議題

子どもに地域への愛着を持たせるためには何が必要か

## 2 テーマについての補足

- ・どのような**地域資源（活動や人材等）**が必要か
  - ・解決しなければならない**課題**はどんなものがあるか
- ※その地域資源があることでどのような効果があるかを交えて発言いただくとイメージしやすい内容となります。

## 3 グループワークの方法

○ 2班（1班・2班）に分かれていただきます。

※別添名簿をご参照いただき、移動をお願いします。

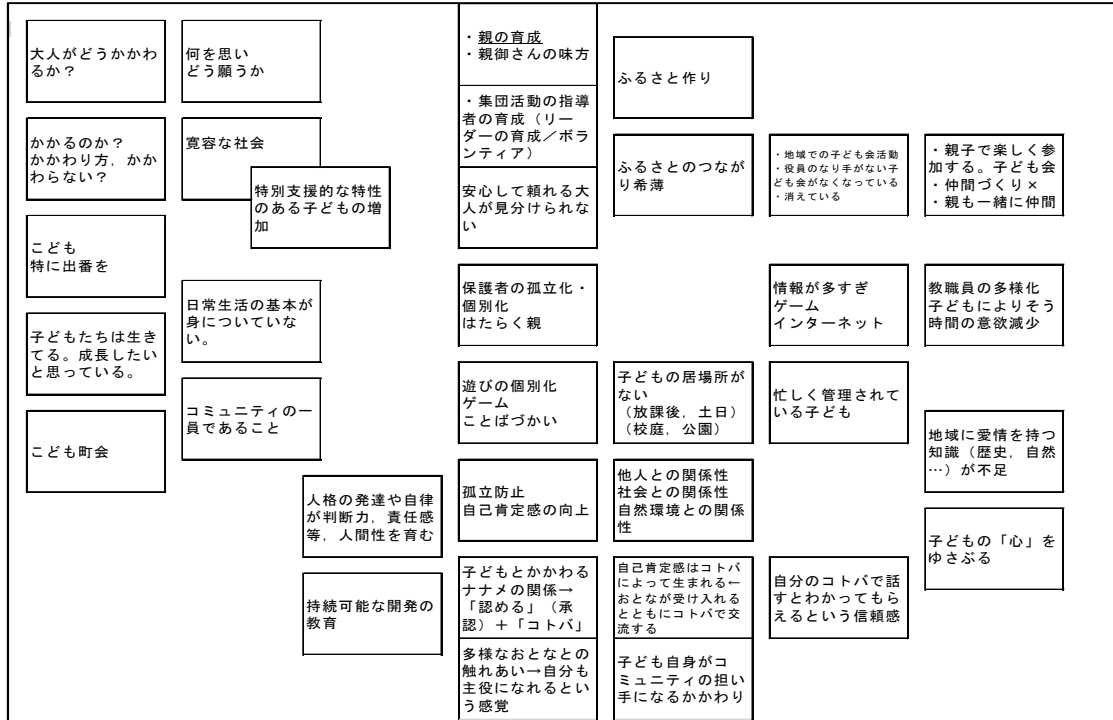
○ 議題について話し合うとともに、内容を付箋に記入し、模造紙に貼り付けてください。

○ 40分で協議した後、話し合った内容の発表をお願いいたします。

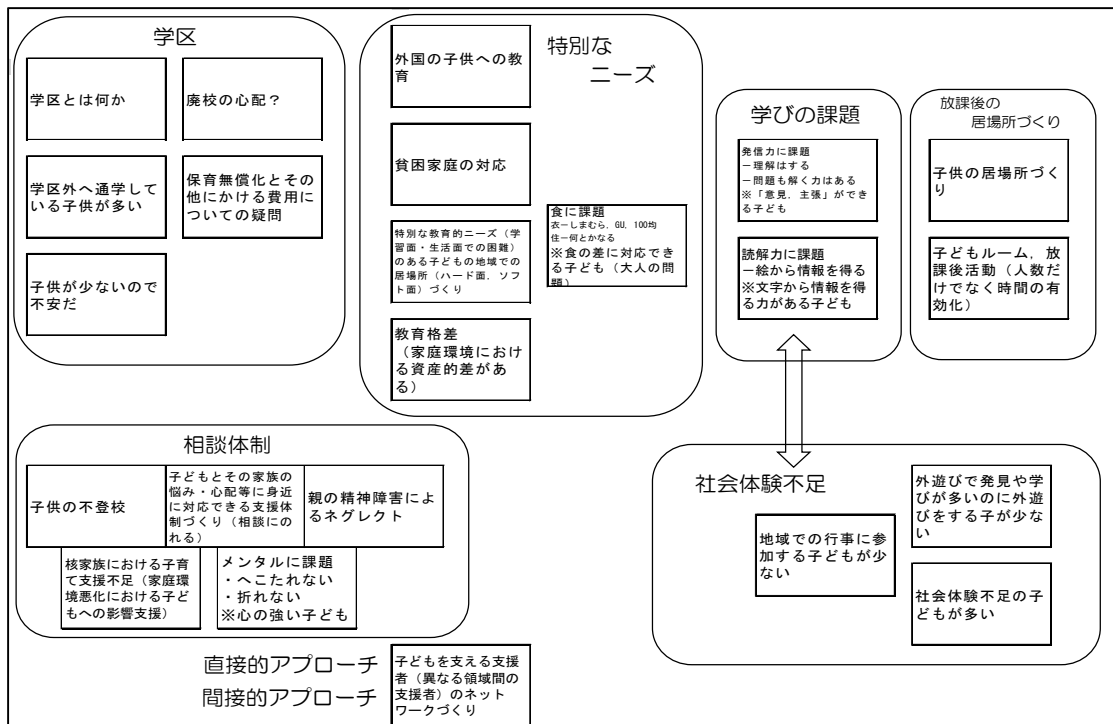
※班ごとに発表者を決めてください。

# 参考

## 1 第1回社会教育委員会議 (R1/7/31) グループワークの結果 【A班】



## 【B班】



## 2 柏市第五次総合計画（抜粋）

序

第1章

第2章

第3章

第4章

### 第4章 まちづくりの基本的な目標（重点目標）

## 第4章 まちづくりの基本的な目標（重点目標）

目指す将来像の実現に向け、まちづくりにおいて基本的・重点的に取り組むべき方向性として、以下の3つを掲げます。

### 1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち

将来人口推計から見た本市の急激な少子高齢化を考えると、将来にわたって活力を維持し持続可能なまちとなるためには、子育て世代を中心とする生産年齢人口の維持・定着による人口構成バランスの保持が必要となります。

これまで、商業のにぎわいや交通の利便性等の強みを背景に、本市に子育て世代が多く転入してきましたが、他市の沿線各駅の駅前開発等や郊外型の大型店舗の出店等により、それらの強みは弱まりつつあります。

そのため、子どもにとっても親にとっても、より魅力あるまちを目指すため、教育環境・子育て環境・生活環境等の充実を図ります。

#### (1) 健やかな成長を支える教育環境づくり

柏で生まれ育つ子どもたちが、心身ともに健康で、社会性を持ち、自ら考え、学び、生きていくことができる基礎を身に付けられるよう、学校、家庭、地域で行われている様々な教育・学習活動の充実・活性化に向けた環境整備を積極的に推進します。

特に、充実した教育が実感できるよう、子ども一人ひとりが学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につけられる教育の推進や、そのための体制・環境の整備に取り組みます。

#### (2) 子どもの育ちと子育てを支援するまちづくり

経済状況や雇用環境、就労意識の変化等により、子育て世帯のライフスタイルやワークスタイルは多様化しており、これに対応した保育環境は、都市機能として必要不可欠なものであることから、積極的に充実を図ります。

一方、地縁の希薄化や核家族化の進展に伴い、就労の有無に関わらず子育てに対する不安や負担、孤立感が高まっていることから、身近な地域における子育て支援の取組を充実させます。また、親育ちの視点から、親同士が子育てを通じて支え合い、学び合うような関係づくりを推進します。このような地域全体で子どもの育ちや子育てを支える意識の醸成や場の創出等により、子どもたちが生まれ育ったまちに愛着や誇りを持てるようにします。

#### (3) 親子が安心、楽しめるまちづくり

柏駅前や柏の葉地域のにぎわい、手賀沼等の豊かな自然、柏レイソルや市立柏高等学校吹奏楽部をはじめとするスポーツ・文化資源等の柏市の魅力を活かし、親子が楽しめる